

商・奥瀬ゼミの北風さん、須藤さん、「日経広告研究所報」に論文掲載

「ゼミは“社会知性”開発、実践する場」

マーケティングと消費者行動を専門とする、商学部・奥瀬喜之ゼミの北風和宏さんと須藤可那子さんの論文「ライン拡張が親ブランドへの態度に与える影響」が、「日経広告研究所報229号」に掲載された。



同ゼミでは毎年、日本リサーチセンターのバックアップを得て、青山学院大・拓殖大・立正大・日本大のマーケティング関連のゼミと討論会を開き、競い合っている。2人は昨年12月の討論会で「出来ることはすべてやったつもり」(北風さん)だったが予選すら通過出来なかった。「周囲に比べて甘かったことに気づきました」(須藤さん)。落ち込む2人に

奥瀬助教授が同所報への執筆を勧めた。「論理の飛躍や矛盾に気づくこともありますが、ヒントを与えることはあっても『何がおいしいか』、『正しい答えは何か』を、教えることはせず、本人たちが気づくまで指摘しないようにしています。社会に出れば『何が問題なのか』は自分で見つけるしかありません。受け身でなく『自ら学ぶ』のがゼミナール。教員の役割は気づくチャンスを与えること。『本気』でこちらも教えますから、学生にも『本気』でぶつかってきてほしい」と語る。

論文執筆に際しては「ブランドが生き残るため、ブランド力の維持・向上は必須だが、ライン拡張をする際に、親ブランドに貢献する戦略を採ることが必要」と感じたところから新たな研究がスタートした。「仮説を立てるまでが大変だった」(北風さん)、「プレゼンと違い、限られた誌面で文章に説得力を持たせるのに苦労した」(須藤さん)という2人。「『就活』で結果が出なくても落ち込まないほど、ゼミで鍛えられ、タフになりました」と笑って振り返る。

北風さんは、インターネット関連会社、須藤さんは住宅メーカーの総合職に内定している。「せっかくゼミに入るなら、厳しい環境で」と奥瀬ゼミを選んだ2人は、本学のビジョン「社会知性」を実践で身につけたといえよう。

※日経広告研究所＝理論と実際の両面から新時代に即応した広告のあり方を確立する研究機関。本学の出牛正芳前理事長も客員となっている。

地域密着型インターンシップに取り組む

川崎市とキャリアデザインセンターが連携して、今年度から始まった「地域密着型インターンシップ」に取り組んでいる学生たちの姿の成果をお伝えしよう。

大都市青年経営者交流研究大会

平尾ゼミ、池本ゼミが発表

—地域の課題解決に—

11月3日、川崎市の川崎日航ホテルで行われた第42回大都市青年経営者交流研究大会の研究発表会で、経済学部の平尾光司ゼミと経営学部の池本正純ゼミが「青年経営者団体の今後のあり方について」を発表した＝写真。



両ゼミは、川崎市内の中小企業の若手経営者をメンバーとする「川崎市青年工業経営研究会(通称:二水会)」の星野妃世子会長らの依頼で、会の現状分析と今後のあり方を調査。会員企業にアンケート調査を実施、また大川町工業団地を見学し、経営者にインタビューも行った。

大会当日は、堀越聡さん(平尾ゼミ)と小池裕史さん(池本ゼミ・いずれも3年次)が発表。アンケート結果から、「情報交換のメリットがあり、交流には満足しているが受け身の活動が多く、マンネリ化による参加率の低下及び会員企業の人材不足」といった問題点を明らかにした。改善案として「二水会を中心とする川崎ブランドの発信」「ものづくりを通しての地域・社会貢献」「情報ネットワークの活用」などを提案し、「経営者が切磋琢磨し挑戦する精神・ものづくりへのこだわりといった『志』を共有することが会のブランド化につながるのでは」と提案した。

星野会長は、「各地の青年経営者団体の活性化のため、『会の問題点』を明らかにしたいとお願いしました。会員では思いつかないアイデアをいただき感謝しています。新たな産学連携の形も提示出来ました。学生参加という企画は初めてでしたが、他都市の参加者からも専大生の発表内容・態度ともに素晴らしかったとの評価でした」と話している。

池本教授は「学生たちが主体的に動き、企業の現場を見て、地域の課題解決に貢献するという新たなインターンシップとなった」と成果を語った。

子供のキャリア教育のファシリテーターに

須田耕治さん(経営3)は、小・中・高校生世代のための生き方学習、職業形成支援を目的に設立されたNPO法人キーパーソン21(朝山あつこ代表理事)でファシリテーターのインターンシップを行っている。

8月には愛知県半田市立半田中学校で2年生対象のマナー道場に参加したほか、10月27日には、本学の高大連携協定校でもある神奈川県立百合丘高校(澄田学校長)の1年生26人を対象とした「コミュニケーションゲーム」の進行アシスタントを務めた。同法人は経済産業省の地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクトを委託されており、小・中・高校の総合学習の時間にワークショップ形式で自立や自分の生き方について学んでもらう活動を主に行っている。

この日は人に「伝える」「尋ねる」「お願いする」ことをゲーム形式で行い、自分の得意なコミュニケーション方法を知って実践の場で応用していこう、というのがテーマ。須田さんは、各チームを回り様子を観察して、チームの良さを述べるなど、メンバーと共に動き回っていた。朝山代表理事は、「チャレンジ精神が旺盛で柔軟性があるところが彼の良さです」と評価する。

将来は起業を考えているという須田さんは「仲間と情報を共有して、自分で責任を負いすぎず、『出来る部分を確実にこなす』ことの大切さを学んでいます。夢と希望を持って活動している多くの方々との出会いも

財産です」と話す。

12月6日にはかわさきFMのラジオ番組「夢と仕事の交差点」で、学生の立場から仕事について語る予定になっている。

【特集】

大学図書館はこんなに便利！

意外に知っていそうで知らない図書館サービスについて、質問形式で紹介し
ます。

<初級編>

●図書館に行ってみよう！

Q: 図書館はどこにあるの？

A: 生田キャンパスでは9号館3階に本館、正門近くに生田分館が、神田キャンパスには神田分館がありま
す。

Q: 図書館利用の必須アイテムは？

A: 学生証です。

●毎日の新聞は図書館で読もう！

Q: 新聞が読める場所は？

A: 本館はブラウジング・プラザで、生田分館はブラウジング・コーナーで、神田分館は1階の軽読書コー
ナーで読めますよ。

●役立つ情報の入手も図書館で！

Q: 旅行のガイドブックや美術館巡りなどに役立つ本は？

A: 生田分館の「旅と歴史」のコーナーをご利用ください。

Q: ヨガやハーブ、料理の本まであるそうですが？

A: 生田分館、神田分館の育友文庫ジョイには、実用書のほか、話題の新刊本が揃っています。ぜひ利用
してみてください。

●エンターテインメントも図書館で！

Q: DVDやCDなどもありますか？

A: 本館のAVプラザにはビデオ、DVD、CDなど合わせて約1万点あり、AVブースで視聴出来ます。

Q: コミックは置いてないですね？

A: 生田分館には「コミック&スポーツ」のコーナーがありますよ。

●資料の探し方・取り寄せ・予約

Q: 読みたい本や、見たい映画はどうやって探すの？

A: OPAC(蔵書検索)で探せます。館内の専用端末または図書館ホームページから検索出来ます。

Q: 神田の学生ですが、生田の図書館の本を神田で借りられますか？



▲端末を使っての情報検索

A:もちろんOKです。神田のカウンターで申し込みと返却が出来ますよ。

<中級編>

●資料集めはオンライン・データベースで！

Q:「データベース」って何の役に立つのですか？ 使い方も難しそうですが…

A:「データベース」には、新聞や雑誌の記事が検索出来るもの、法律や判例などが検索出来るものなどいろいろなものがあります。図書館では各種提供していますが、ここではレポートや論文を書く際の下調べや、資料集めに絶大な威力を発揮するオンライン・データベースをいくつか紹介します。

語句や事項を調べるには、ジャパンナレッジが便利。百科事典、辞書、ニュース、学術サイトURL集などを一括で検索出来ます。

雑誌論文・記事の検索には MAGAZINEPLUS、CiNii:論文情報ナビゲータ。テーマや著者名から、学術論文や雑誌記事にどんなものがあるか調べられます。

新聞記事の検索には 聞蔵(きくぞう)DNA for Libraries(朝日新聞1984年8月～、AERA、週刊朝日)と日経テレコン21(日経新聞4紙、企業情報、人事情報など)

どのデータベースも使い方は難しくないのです、ぜひ使ってみてください。

●グループでも利用出来ます！

Q:図書館で仲間と一緒に資料を利用したいのですが？

A:本館にはグループ閲覧室が2室あり、グループで貸し切り利用が出来ます。予約制(24名まで)。また、本館AVルームや生田分館第3B閲覧室(視聴覚室)では、視聴覚資料をサークル活動などで利用出来ます。

<上級編>

●レファレンスサービスを利用しよう！

Q:探している資料がないときは…

A:レポートや論文作成のための資料が探せない時の相談を受け付けています。他大学所蔵の雑誌論文のコピーや図書を取り寄せたり、他大学の資料を利用しに行くための紹介状の発行もしています。

●図書の購入希望も受け付けます！

Q:希望図書を購入してもらえますか？

A:カウンターに申し込んでください。

●卒業後も利用出来ます！

Q:卒業後も利用出来るのでしょうか？

A:どうぞご利用ください。継続的に利用したい方には校友の図書館利用カードを発行しますよ。